

家庭学習の手引き

家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だと、どうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、学習習慣を身に付け、「学ぶ力」を育てましょう。

また、子供は家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。学校と家庭とが協力して、家庭学習を充実させるために、この手引きのご活用をお願いします。



銚子市立船木小学校

家庭学習の進め方

(1) 家庭学習の仕方

- ①「宿題」に取り組む（家庭で宿題ができているかチェック）
- ②「自主学習」に取り組む
- ③学習が終わったら、「翌日の準備」をする。
 - ・鉛筆を削る。
 - ・日課表を確認し、授業の道具をそろえる。
 - ・連絡帳を見て、持って行く物を用意する。 など



(2) 家庭学習時間の目安と自主学習

本校では、学年ごとに目安の時間を決めました。

学 年	時 間	休み中
1・2学年	15分以上	30分以上
3・4学年	30分以上	60分以上
5・6学年	45分以上	90分以上

自主学習の参考例

国 語	算 数	理科・社会
○漢字の書き取り ○言葉の意味調べ ○俳句・短歌作り ○視写 ○詩の暗唱 ○ことわざ・四字熟語	○計算練習 ○教科書の問題 ○テストの見直し ○単位・数量のまとめ ○式・公式のまとめ ○計算の解き方	○テストの見直し ○学習した内容などについて、資料などで調べる。 ○ノートの見直し
○読書 ○地図で地名や記号 ○新聞の記事 ○図鑑・辞典 ○自然観察 ○市販の問題集や参考書 ○日記（絵日記） ○英語スペリング 等		
国語・・・新聞やニュースをみて、自分なりの感想を書く。 算数・・・答えを導くための過程を説明する。図や線分図で表す。 社会理科・学習した内容について、資料集やインターネットなどでさらに調べる。 ・重要な言葉や実験の手順・グラフなどをノートにまとめて整理する。 ・自分の生活と関連づけて考える。		

1年生・2年生の家庭学習

この時期の子供は

- 何でも知りたがっています。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだまだ難しい時期です。

いっしょにやる気をおこす

- 家族の人といっしょに、学習することややり方を決めましょう。
- できたことをほめることによって、意欲を高めることができます。

身に付けたい力

1年生	2年生
<ul style="list-style-type: none">●鉛筆を正しく持ち、正しい姿勢で文字が書ける。●ひらがな・カタカナを正しく読めて書ける。●助詞「て・に・を・は」を使い分けて文章を書ける。●新出漢字（80字）のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。●100までの数について数えたり表したりすることができる。●一ケタのたし算やひき算が正確にできる。●時計（アナログ）を見て、時こくを読むことができる。 など	<ul style="list-style-type: none">●新出漢字（160字）のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。●順序よく話をするができる。●順序を表すことばを使って、作文を書くことができる。●かけ算九九がすらすら言える。●たし算、ひき算、かけ算が速く正確にできる。●筆算で、計算することができる。●決められた長さの直線を、定規を使って正確に引くことができる。●時間と時こくの違いがわかり、文章を解くことができる。 など

学習内容例

- <音読> ○教科書などを、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
○句読点「,」「。」に気を付けて、大きな声で読みましょう。
- <漢字> ○書き順に気を付けて、ていねいに正しく書きましょう。
○漢字ドリルなどを活用し、繰り返してていねいに書きましょう。
- <計算> ○最初は楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。
○間違った問題は必ずやり直す習慣を付けましょう。
○計算の手順を唱えながら練習しましょう。
○かけ算九九を唱えながら練習しましょう。
○文章問題は、声に出して問題を読みましょう。
- <読書> ○いろいろな本を読みましょう。

3年生・4年生の家庭学習

この時期の子供は

- 何にでも興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- やろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。



認めて褒めて自信を付ける

- 家族の温かいアドバイスや励ましの言葉が、やる気を起こします。
- 宿題を見るなど手助けして応援すると、徐々に自分でできるようになります。

身に付けたい力

3年生

- 配当漢字（200字程度）の読み書きができる。
- 短い詩などをいくつか暗唱できる。
- 簡単なことわざを知っている。
- 主語述語の意味がわかる。
- 国語辞典を使うことができる。
- かけ算の筆算や簡単なわり算などを正しい手順で計算できる。
- はかりを使って重さを読める。
- コンパスを正しく使うことができる。
- ローマ字を正しく読み書きできる。
など

4年生

- 配当漢字（200字程度）の読み書きができる。
- 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れる。
- 文と文とのつながりを考えながら、指示語、接続語を使う。
- わり算の筆算ができる。
- 倍を使った文章問題ができる。
- 地図を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- 47都道府県の位置がわかり、正しく名前を書くことができる。
など

- <音読> ○毎日1回は声を出して教科書を読みましょう。
○様子がわかるように気持ちをこめて読みましょう。
(読む速さ・声の大きさ・高さなどの工夫)
○国語辞典や漢字辞典などを使えるようにしましょう。
- <書く> ○行ったことや見たこと、思ったことを日記に書きましょう。
○書き順や「はね」「はらい」「とめ」に気を付けて書きましょう。
- <計算> ○かけ算九九をマスターし、忘れないよう時々復習しましょう。
○ノートのマス目を使って位をそろえて書くようにしましょう。
○計算の手順が正しく身に付くように唱えながら練習しましょう。
(例; わり算「立てる・かける・ひく・おろす」)
○文章問題は、声を出して問題を読んだり、絵や図に描いたりして考えましょう。
- <読書> ○いろいろな本を読みましょう。

5年生・6年生の家庭学習

この時期の子供は

- 自分でできているので、かける言葉に配慮が必要です。
- 得意・不得意な教科を意識するようになります。
- 体も心も急激に成長しますが、バランスがくずれ、不安定になることもあります。成長を見守ってほしいと思っています。



見守って、伸ばす

- 子供の話をよく聞き、成長を見守ることで、将来の夢や目標をもって努力するようになります。

身に付けたい力

5年生	6年生
<ul style="list-style-type: none"> ● 配当漢字（185字程度）の読み書きができる。 ● 今まで習った漢字を使った熟語が書ける。 ● いくつか短歌や俳句を暗唱できる。 ● 小数のかけ算、わり算ができる。 ● 分数のたし算、ひき算ができる。 ● 百分率を使った問題が解ける。 ● 単位量あたりの考え方ができる。 ● 速さの計算ができる。 ● パソコンでローマ字入力ができる。 ● 人の誕生や成長、物の動きの規則を知る。 ● 日本の工業のさかんな地域がわかる。 ● 日本や世界の主要国の位置を正しく示すことができる。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校で習ったすべての漢字の読み書きができる。 ● 小学校で習った漢字を使った熟語が書ける。 ● いくつか詩や短歌・俳句・漢文を暗唱できる。 ● 分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。 ● 歴史上の人物や事件について、おおかたの説明ができる。 ● 重要な年号を覚えている。 ● 日本国憲法の前文や三権分立など、社会用語をおおかた説明できる。 ● 理科の学習用語を正しく覚える。 ● パソコンでローマ字入力ができる。 など

学習内容例

- <音読> ○毎日1回は声を出して教科書を読みましょう。
 - 間をとりながら読むなど、自分のめあてに向かって読めるように練習しましょう。
 - 有名な詩や俳句、短歌・漢文などを暗唱しましょう。
- <書く> ○漢字の構成や字形を意識して書きましょう。
 - 漢字ドリルなどを活用して、漢字を練習しましょう。
- <計算> ○考え方が身に付いているか、自分の方法は正しいかを教科書やノートで確かめましょう。
 - 間違いがないか検算をして、答えを確かめましょう。
 - 文章問題は、声に出して問題を読んだり、簡単な図に描いたりして考えましょう。
- <読書> ○いろいろな本を読みましょう。